

劍客龍虎

(六  
卷)

帝  
國  
映  
畫

原作者  
監督者  
撮影者  
主演者

時  
代  
映  
畫  
池山並  
下木千徳  
第三百八十三號  
田中太  
秀緣  
第三結城重三郎  
正三號  
役者  
妖香  
は身結く

道  
戀に破れて身を落す者、戀に惠まれて正  
徳を行く者、前者がクロテスクな團徳慶、後者く  
城は新人結城重三郎。で茲に於ける。る團の役柄、  
團徳慶の爲にこれは誠に氣の毒な果敢な役柄には身結く  
勵き、恋に恵まれて正三號  
金に迫つて、丹下左膳の役柄には身結く  
團徳慶の爲にこれは誠に氣の毒な果敢な役柄には身結く  
居るばかりでなく觀て居る方にとつても、役柄には身結く  
使つた。そこが失敗ではない。大體この主役にとつても、役柄には身結く  
芝居をする。彼は一人で異様に倒れる。を身結く  
演じて格ばみ、戀態的なマスクをなし、扮装も凝らしてゐる。他の役柄には身結く  
演者達は團とは又別な境地では少しも高潮しない。他に役柄には身結く  
の如き云つた様な感じでどうも此映画は總體に缺けてゐる。  
タリと迫つて來るものに缺けてゐる。その爲ビテのあらに團事映画。他の役柄には身結く  
主人が斬られても、龍捲虎迫しても、昂奮は不思議では所詮  
い。結局結城重三郎もこんなもの。出來兼ねる云つたもの。  
は出来兼ねる云つたもの。

(六  
卷)

池田  
重三郎  
常盤座

(十二月五日)

常盤座

興行價値——添物級以下の作品